令和3年度 わが家の結いタイム 三行詩コンクール入賞作品

どの作品も情景が浮かんでくるようなすてきな三行詩です。心がほっこりしたり、胸がじーんとしたり…　ゆっくりとごらんください。

特選

小学校1～3年の部

わたしはママのおてつだいがだいすき
だってじょうずになったねすごいねとだきしめてほめてくれるのがうれしいからこんどはわたしがママをだきしめてほめてあげるね！

龍江小学校1年　熊谷 美音さん

小学校4～6年の部

誕生日　いつも
「おめでとう」って言ってくれる
だから私は
「生んでくれてありがとう」
「育ててくれてありがとう」って
言いたいな

千栄小学校6年　藤本 心美さん

中学校の部

反抗期
それが過ぎたら反省期
伝えようといつも言えない
「ありがとう」

遠山中学校3年　佐藤 すずなさん

一般の部

「ねぇ　お母さん」
習い事帰り、車から玄関までの
ちょっとだけ「手つなごう」
弟妹がいないちょっとだけの時間
まだ甘えたい僕の時間

冨田 砂織さん

入選

小学校1～3年の部

ストーブよりも
あたたかい
かあさんのぎゅう！！

千栄小学校3年　知念 暖大さん

おしごとがとおいのに
かえってきてくれてありがとう
おとうさんとたくさんあそべて
学校の話もできてうれしいな
ぼくのすきな時間だよ

松尾小学校2年　山本 翔也さん

いってらっしゃい！と家族みんなが
手をふり送ってくれる
てれくさくていつもかた手を
あげるぼくだけど
心の中では大きな声でいってきます

龍江小学校3年　熊谷 奏音さん

小学校4～6年の部

みんなでかこんだ
しょくたくは
きょういちにちの報告会

座光寺小学校6年　萱間 春陽さん

1人で　はいるこたつは
静かでおちつく
だけどみんなではいると
にぎやかで、もっと、あったかい
私はやっぱこっちが好き

山本小学校5年　上沼 夏帆さん

車内では家族の会話が深まる時間
今日の出来事うれしかった事
ほんの少しの間だけれど
家族の心が温まる大切な結いタイム

山本小学校5年　市村 優直さん

中学校の部

思春期は　たった5文字の　ありがとう
それも言えない　おそろしい

旭ヶ丘中学校1年　山浦 朋栞さん

お母さんが　教えてくれた豆知識
前も聞いたよその話
でも話すのが楽しくて
今日も私は知らんぷり

緑ヶ丘中学校2年　今村 杏珠さん

「おはよう」
反抗期だった兄が
どんなに不機嫌な日でも
必ず言っていたことば
あいさつは
言えない「ありがとう」や「ごめん」を
届けてくれるんだ

緑ヶ丘中学校2年　茂手木 奈月さん

一般の部

手伝いを頼むと
「え～」と言っていた小学生
中学生になって
黙って祖母の手助けをする姿に「お～」

小林 奈緒美さん

中学生
「子供」が今や「親友」で
女同士で
花咲くおしゃべり

山口 かほりさん

「手伝って！」の一言に
子どもが2人かけてきて
どっちがやるかでケンカする
頭は痛いが　心はうれしくてあたたかい
そんなひと時

飯沼 直美さん

佳作

小学校1～3年の部

ぼくがうたったおかあさんのうた
おかあさんときどきスマホで
こっそりみてるんだって
ほんとかなー

上郷小学校2年　髙野 和史さん

わたしのおきにいりのえほん
ねえねにたくさん
よんでもらったえほん
こんどはわたしがいもうとに
よんであげよう

山本小学校1年　折井 菫さん

手をつなごう～
手をつなごう～
つないだ手　あったかくてほっとする
わかやの寝る前結いタイム

伊賀良小学校1年　宮下 柑菜さん

おとうさんは
みんながねるときにかえってくる
てつだいたいけど
ねないといけないからてつだえない
やすみのときはちょっとしかないけど
そのときてつだうよ

竜丘小学校2年　熊谷 柚希さん

私が「おはよう」
おばあちゃんが「おはよう」
それが1日のはじまり

下久堅小学校3年　尾曽 美鈴さん

小学校4～6年の部

家族みんなの
「おはよう！」の言葉が
眠気をあっという間に
ふきとばす
今日の朝もスタートダッシュが
決まったぞ！

上郷小学校4年　林 旺史朗さん

兄弟3人で入るおふろ
さわがしくて、きゅうくつだけど
心と体は温まる

浜井場小学校6年　小池 洸誠さん

川の字で　私のパンチ　くらうんだ

追手町小学校4年　寺澤 知咲さん

おたんじょう日は家族みんなでおいわいしてくれる
とっても楽しい家族時間
大きなケーキを7とう分
これがとってもむずかしいんだ

上郷小学校4年　野口 瑛仁さん

家族との
百人一首　ようしゃなし
でもいつのまにか笑ってる

竜丘小学校6年　小室 奈々さん

中学生の部

タブレット
会話を減らす
魔の道具
たまには距離をあけてみよう

竜東中学校2年　松村 怜さん

後ろを振り返れば家族がいる
前を向けば支えられて
はじめて未来がみえる
今日も私は未来に向かって歩き出す

緑ヶ丘中学校2年　松下 愛依さん

母親に
「ありがとう」と
言いたいが
気恥ずかしくて
心の中でつぶやいた

竜東中学校2年　平澤 琉南さん

「つかれたな」は
母の心が読めてきた
あとはまかせて
あとちょっと
でもおわらない
今度は　母があとはまかせて

緑ヶ丘中学校2年　神谷 蒼生さん

犬あくび
家族にうつり大感染
今度は笑顔の花が吹き
幸せいっぱい感染病

飯田東中学校3年　児島 由依さん

一般の部

子供でも大人でもないその声で
続けて欲しい
「おはよう」のひと言

小池 綾さん

「ただいま」
「おかえり」
「今日、学校どうだった？」
「楽しかった！」
その言葉に一安心

酒井 正也さん

コロナ禍の運動不足解消に
家族ではじめた家ダンス
子より頑張り踊る親

宇野 良博さん

だんだんと近づいてくる息子の背
いつ抜かれるか
素直に楽しみな息子と
楽しみ＆複雑な母

小澤 貴美恵さん

バドミントンの親子対決
まだ負けないよ　野球では
いつの間にか追い越されたから
手加減せずに　本気でスマッシュ
「強くなったな！」って負けを
認めるのは　楽しみだけど
まだまだ先伸ばしするよ

平岩 美代子さん

自分の可能性に挑戦しています！

全市型競技別スポーツスクール新たな取組

令和3年度は、中学生を対象にスポーツの楽しさを知ることができる初心者向けの体験型スクール（7月～）と、より専門性の高い指導にふれて技術を高められる競技力向上スクール（10月～）の2つのコースを開講しています。生徒の皆さんは複数のスポーツに親しむことができるチャンスです。この機会に自分の可能性を広げてみませんか？

参加申込みはこちら

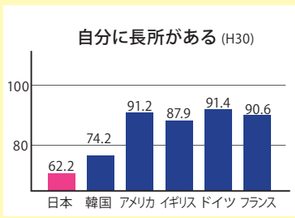
結和（ゆいびより）コラム

飯田市教育長
代田 昭久

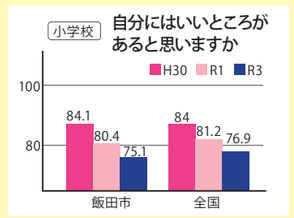
「自分には長所がある」。こう言える子どもの割合が、日本は諸外国に比べて低く、「自己肯定感」の低さが指摘されています（図1）。自己肯定感とは、自分が自分のままでいいと思える心の状態のことで、失敗を恐れずに挑戦し、将来の可能性を広げることにつながります。飯田市の子どもたちはというと、全国平均に近い数値ですが、ここ2、3年前で大きく低下しています（図2）。

では、どうしたらこうした状況を打開できるのでしょうか。子どもたちに「自分の良いところを見つめてみよう」と言っても難しい話です。自己を肯定する感覚は、自分一人だけではなく、相互啓発的、つまり、人と人とのあいだで育まれるからです。「ありがとう、たすかったよ」「すごいなぁ、よく出来たね」といった言葉や、「自分にはいいところがある」と言える大人が周りにいることも大切です。

コロナ禍で、誰もが夢や希望、自己肯定感を持ちにくい時代。でも、こうした時代だからこそお互いの関わりを大切にし、みんなで前を向いて進んで行きたいものです。やりたいことに果敢に挑戦できる、そんな社会の空気をつくりながら、みんなで子どもたちをたくましく育(Hagu)くんでいきませんか。



【図1】我が国と諸外国の若者に関する調査（内閣府）



【図2】令和3年度全国学力・学習状況調査（文部科学省）

特集

データで見る

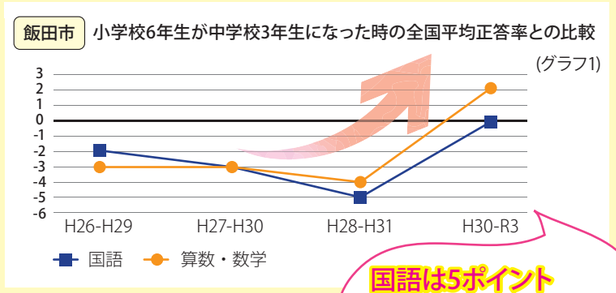
飯田市の子どもたちの今

～全国学力・学習状況調査の結果から～

学力向上への挑戦！

小中連携・一貫教育の中で、学力が伸びています

今年の5月に、2年ぶりに小学校6年生と中学校3年生を対象にした全国学力・学習状況調査が行われました。ここ数年飯田市では、小学校のときの学力が中学校で十分に伸ばし切れていないという課題がありましたが、本年度の調査では、中学校3年生の学力に改善傾向がみられました。国語、算数・数学共に、小学校6年生のときの学力水準が、全国平均正答率と比較して、そのまま伸びているか向上しているという結果になりました。(グラフ1)また、小学校6年生の国語では、長野県の平均正答率は全国を下回りましたが、飯田市の平均正答率は全国とほぼ同水準となりました。



国語は5ポイント
算数・数学は6ポイント
伸びました。

考え伝える力が伸びています

スピーチの構成を考え、自分の考えが伝わるように話すことができるかを問う国語問題では、全国の平均正答率を大きく上回り、普段の学習の成果が表れました。

冬季ジブン・チャレンジ！

中学生が自分のやりたいこと、伸ばしたいことに挑戦しています

中学生期の適正なスポーツ活動時間になるように、新しく部活動の指針を令和2年3月に策定しました。中学生の健康を第一に考え、心と体のバランスをとった日常生活が送れるよう、スポーツ庁のガイドラインや長野県の指針に則り、朝の活動や放課後の活動時間の見直しを行いました。

完全下校時刻が早まる冬季（概ね11月～1月）の放課後の部活動を行わない期間を「冬季ジブン・チャレンジ期間」と位置付け

「自分のやりたいこと、伸ばしたいことに挑戦する期間」

としました。

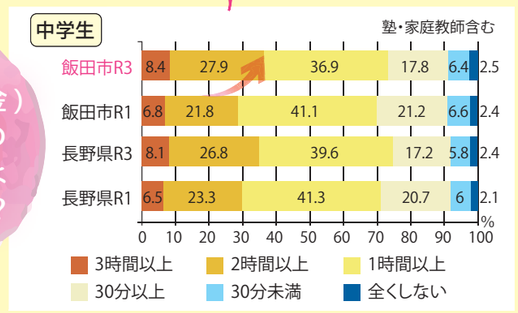
昨年度のアンケート結果より、この期間に主体的に様々なことに取り組んだ生徒ほど、この期間を前向きにとらえられたことがわかりました。

平日２時間以上家庭学習をする中学生が
約 8%増えました。

本年9月に協定を結んだ筑波大学アスレチックデパートメントの協力を得て、「冬季ジブン・チャレンジ期間」をどのように過ごしたら良いのか、考える機会を設けました。いくつかの学校では、筑波大学からオンラインで出前授業を行い、この期間中に挑戦することを決め、具体的なアクションプランを立てて、活動に取りかかり始めています。

筑波大学からオンラインで授業を受ける東中学校の生徒たち

平日（月～金）授業以外の勉強時間はどれくらい？



学力向上の要因にも

本年度の中学校3年生の全国学力学習状況調査の結果が改善傾向にあるのは、この放課後の部活動を行わない期間の過ごし方が要因の1つではないかと考えています。

ICT 教育が充実しています

機器を上手に活用し、学力向上につなげよう

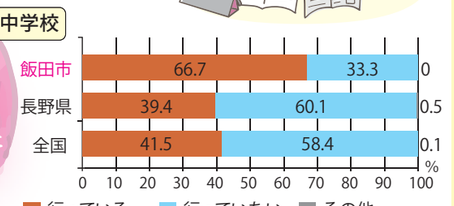
各小中学校では、ICT教育の中心を担っている教員が年3回の研修に参加し、自らも主体的に学びながら、自校のICT教育の推進役として活躍しています。

各学校では1人1台学習用パソコンの活用場面が広がり、授業の中で学習用パソコンを使って考えを伝え合う姿が多く見られるようになってきました。全国学力学習状況調査の結果からも、飯田市がICT機器を活用した取組をよく行っていることがわかります。

ICTを使うことに慣れ、日常的に活用することにより、ICTを学習の道具の一つとして使えるようになってきています。今後、このような取組の推進によって児童生徒が学びの楽しさを感じ、学力の向上につながってほしいと願っています。

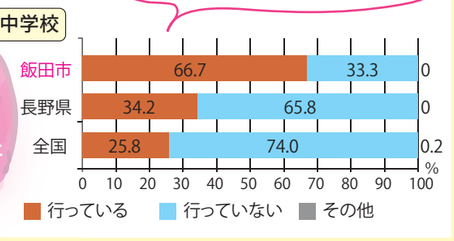
パソコンを活用して児童同士で話し合いながら授業は行われています。

先生と生徒のやりとりでコンピューター等ICT機器を活用した取組を行っている？



どちらも全国・長野県を大きく上回っています。

生徒同士のやりとりでコンピューター等ICT機器を活用した取組を行っている？



教員研修

各学校の ICT 教育の実践事例をオンラインの研修会で紹介し合いました。

NEWS

「飯田市ICT教育情報サイト」を開設しました

飯田市のICT教育に関する情報を、学校、児童生徒、保護者、地域の皆様が知ることができるサイトです。

【閲覧方法】

1 「飯田市 ICT 教育」と検索し、ご覧ください。

2 飯田市教育委員会のホームページ内、「関連リンク」からもご覧いただけます。

飯田市 ICT 教育情報サイト

https://sites.google.com/iida-ngn.ed.jp/ict

保護者の皆様へのお願い

学校のICT教育が進んできました。
各ご家庭でも、スマホを含めたデジタル機器の使い方の約束を改めて確認し合ってください。